

学校教育目標 ふるさと矢部を愛し、未来を拓く学力と健康な心と体を持ち、共に伸びる
児童・生徒の育成～学校地域家庭をつなぐ「総がかりの教育」の推進～

重点目標 目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成


令和6年8月26日 文責 古川 志乃

学校生活モードに切り替え！ Back to School！

今年の夏は、これまでにない暑さですね。熱中症指数も「極めて危険」な状況が連日続いています。ゲリラ豪雨や関東地方への台風ルートからも、亜熱帯化している日本の気候に地球温暖化の危機をひしひしと感じます。今後も、熱中症には十分な気を付けて生活しましょう。そのためにも、十分な睡眠・栄養をとりましょう。

夏休みが終わり、前期のまとめの時を迎えます。早く、学校生活モードに切り替えて、様々な活動にしっかり目標をもって取り組んでいきましょう。後期課程生徒においては、9月3日（火）～5日（木）に前期の期末考査が行われるので、4月からの学習を振り返り、試験に備えましょう。また、新人陸上大会等も開催されるので、自分の時間の使い方（計画的な取組）をよく考え、見通しをもって生活してほしいと思います。

戦後79年 「平和への誓い」

本年度の八女市中学生平和事業（8月5日～6日）には、8年生の  さんが参加しましたが、8月6日（火）の出校日、彼が参列した「広島平和祈念式典」の生中継をみんなで視聴しました。黙とう後、広島市長の「平和宣言」や小学生の「平和への誓い」を真剣に聞き、さらには、学年に応じた「平和学習」を行い、核兵器廃絶、戦争放棄に対する考えを深めました。

- 1・2年「ながさきの子馬」、3・4年「なっちゃんの赤いてぶくろ」、
- 5・6年「夏服の少女たち」、7年「山本達雄さん～原爆の火を守り続けた男～」、
- 8年「折り鶴の旅（うみのしほ作 絵本）」、
- 9年「メアリーが伝えるヒロシマ～アメリカ人ピースガイド～」

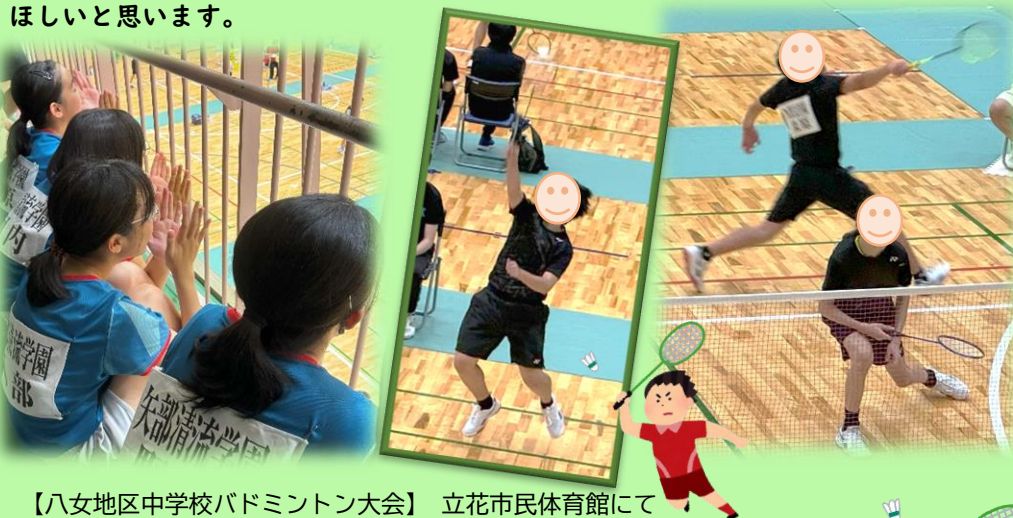
【平和への誓い】～広島市の小学6年生による「平和への誓い」から抜粋～

被爆者である私の曾祖母は、当時の様子を語ろうとはしませんでした。言葉にすることさえつらく悲しい記憶は、79年経った今でも多くの被爆者を苦しめ続けています。今もなお、世界では戦争が続いています。79年前と同じように、生きたくても生きることができなかった人たちが、明日を共に過ごすはずだった人を失った人たちが、この世界のどこかにいるのです。本当にこのままでよいのでしょうか。願うだけでは、平和はおとずれません。色鮮やかな日常を守り、平和をつくっていくのは私たちです。一人一人が相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。さあ、ヒロシマを共に学び、感じましょう。平和記念資料館を見学し、被爆者の言葉に触れてください。そして、家族や友達と平和の尊さや命の重みについて語り合しましょう。世界を変える平和への一歩を今、踏み出します。

中学校体育連盟の試合に挑みました！

6月5日（水）、前期課程児童全員から「激励会」を開いてもらい、たくさんのパワーをもらった後期課程生徒は、6月6日（木）に八女地区陸上大会、6月15日（土）に八女地区バドミントン大会、7月20日（土）・22日（月）に筑後地区バドミントン大会へ出場しました。本年度の重点目標「目標に向かって粘り強く取り組む児童生徒の育成～鍛えよう！ほめよう！～」を形にしていけるのに適した活動の部活動。これらの試合を通じた自分の取り組みはどうだったでしょうか？

試合結果以上に、試合に臨む「心」の成長をこれからもこだわってほしいと思います。試合は、対戦する相手がいるからこそ、試合をする会場があってこそ、試合を運営したり審判したりする人がいてこそ、そして、共に励まし合える仲間や支えてくださる家族がいてこそ実施できるもの。これからも、各試合において、感謝の気持ちを態度で表すとともに、一人一人のスキルを伸ばせるように日々の練習に励んでほしいと思います。



【八女地区中学校バドミントン大会】立花市民体育館にて

- 男子ダブルス 1位
- 女子ダブルス 1位
- 男子シングルス 2位
- 女子シングルス 2位

PTA活動「愛校作業」 8月25日（日）

PTA活動の一環として、8月25日（日）に「愛校作業」を行いました。暑い中、早朝から草刈りや高圧洗浄機での汚れ落とし、校内の清掃、カーテン洗濯等、保護者の皆様のご協力のおかげで、学校中がスッキリきれいになりました。夏休み明けの学校生活が、気持ちよく再スタートできます。ご協力ありがとうございました。

また、愛校作業後に、PTA役員の方々の計らいで親子と職員がふれあう懇親会を開催していただきました。暑い中ではありましたが、BBQを楽しみながら、和気あいあいとした時間を過ごすことができました。役員の皆様、準備等、大変お世話をおかけしました。重ねてお礼を申し上げます。

9月17日（火）には、「家庭教育学級（授業参観と子どもとメディア黒田可奈子先生の講演会）」が計画されています。たくさんのご参加をよろしくお願いいたします。

第74回「社会を明るくする運動」 八女地区青少年弁論大会

7月13日(土)



7・8年生 ゆいのもり訪問 6月28日(金)

7・8年生は、6月28日(金)、福祉体験学習「ゆいのもり訪問」を行いました。この訪問に向けて、5月のオリエンテーション時に決めためあて「高齢者の方々と安全に気をつけて、元気に、楽しくふれあおう。」を達成すべく、事前にいろいろ工夫しながら準備してきました。高齢者の方々とふれあいを通して、思いやりの気持ちを醸成するとともに、福祉の仕事についての関心を高めてくれたものと思います。



7月13日(土)八女文化会館にて、「八女地区青少年弁論大会」が開催され、本校から9年生の [] さんが出場しました。「努力をすること」という題で、毎年挑んでいる八女地区駅伝大会を通して学んだことについて発表しました。「努力をすることは、自分の本当の力を知るために大切なこと。また、努力をしたからこそ達成感を味わうし、悔いが残らない。」…と自分の体験談を堂々と語る事ができました。

この場で発表する前に学校でリハーサルをしたところ、1～9年生全員が聞きに来て、誰もが [] さんへ温かい応援の言葉をかけていました。

【お知らせ】

矢部地区青少年育成会主催の「矢部地区青少年の主張大会」は、本年度から実施されないこととなりました。子どもの数が減少したことが主な理由ですが、本大会の趣旨「鋭い感受性を持つ青少年が地域、家庭、学校での日常生活の中で得た思いやまとめ、意見や提言を広く訴えることにより、青少年の自覚を高めるとともに、青少年の健全育成についてお互いに理解を深める。」は、毎年12月に実施している本校の「学習発表会」で引き継ぎます。本年度の「学習発表会」は、12月8日(日)に計画しておりますので、子ども達の日々の学習成果を矢部村の多くの方々に観ていただきたいです。



夏休み学習会 7月22日(月)～26日(金)

前期課程児童は7月22日(月)に水泳の補充学習、23日(火)～24日(水)に学習会を、後期課程生徒は7月22日(月)～26日(金)に学習会を行いました。地域学校協働活動の一貫として行い、地域ボランティアの方々の支援協力を得ながら、自分が必要とする教科の学習に取り組みました。

このとき支援いただいた卒業生の牛島晴菜さん(大学2年生)は、小学校教員を目指していて、彼女の夏休みの間(9月6日まで)学習支援を継続して行っています。よりよいふれあいができることを期待しています。



【生徒感想より】～一部抜粋～

利用者さんと一緒に交流する機会をつくってくださり、ありがとうございました。準備をする時、みんなでしっかり話し合っ何をするかを決めることができたし、自己紹介では、大きな声でゆっくり話ことができました。学んだことを今後生かせるように頑張りたいです。
(8年 K.Sさん)

僕は、自己紹介でハキハキ言うことができなかったけれど、インタビューでは、おじいちゃん、おばあちゃんの目を見て、大きな声でわかりやすく言うことができてよかったです。マジックでは、成功した友達に拍手をして盛り上げることができたし、僕たちのわなげゲームでは、投げられる時に「がんばってください!」「お願いします!」と優しく声をかけることができたのでよかったです。友達と協力し合っ、出し物が成功したのでよかったです。
(7年 K.Yさん)